

# 横須賀市中小企業景況レポート

第 19 号 (平成 29 年 7 月号)

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課  
〒238-8550 横須賀市小川町 11  
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3か月に1回発行しています。

【市ホームページ（下記）からもご覧いただけます。】

横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoureport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：187社（うち、かながわ信用金庫+湘南信用金庫 調査173社）
- ③ 調査期間：前期・・・平成29年 1～3月の景況感（調査時点 平成29年3月1日）  
今期・・・平成29年 4～6月の景況感（調査時点 平成29年6月1日）  
次期・・・平成29年 7～9月の景況感（ ” ” ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：DI値算出による（次ページにDI値の説明あり）

## 景況及び4項目の調査結果（全業種）

\*DI値調査結果は裏面に記載

**全業種の景況感は、前期の△4から2P改善し、△2Pとなりました。**

業種別にみると、製造業、建設業、卸・小売業は若干悪化していますが、不動産業、サービス業で改善しました。なかでもサービス業は20Pと大きく改善し、前期の△25Pから△5Pとなりました。

次期については、改善が見込まれていますが、製造業だけは更に悪化することが予想されています。

全業種の項目別でみると、資金繰りは、今期△7Pで横ばいでしたが、次期は△11Pで、4Pの悪化が予想されます。雇用人員は前期から7P改善しましたが、今期も△28Pと引き続き人手不足感があり、次期も△29Pで厳しい状況が予想されています。

一方で収益は、今期△9Pでしたが、次期は3Pで、12Pの改善が予想されています。

昨年同期（平成28年4月～6月）の売上額の比較については「増加」と回答した企業の割合が増え、「減少」が減ったため、DI値は22.6Pの大幅な改善で6.1Pとなっています。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（％）－悪い（少ない）等の構成比（％）を計算した結果です。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

特に決まりはありませんが、このレポートは次の基準で記載しました。（マイナスは△表示）

○良い：15P 以上



○やや良い：6P～14P



○変わらない（普通）：△5P～5P



○やや悪い：△6P～△14P



○悪い：△15P 以下



## 業種別 調査結果と事業者の声

\*DI 値調査結果は裏面に記載

### (1) 製造業 景況感 12P (前回比△2P) <やや良い>



売上額（△6P）は、前回から 17P の悪化となりました。逆に収益（9P）と資金繰り（6P）は、それぞれ 6P 改善しました。

雇用人員（△30P）は、依然厳しい状況ではありますが、前回より 16P 改善していて、次期についても 6P 改善が予想されます。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・会社の知名度が上がって、仕事の問い合わせが増えている。長期的な受注増が見込まれるため、積極的な設備投資を考えている。
- ・部門別採算管理を徹底しており、製造費用見直しにも取り組み、更なる利益計上を目指している。
- ・オリンピック特需が廻ってきており、製造業から建設業にシフトしている。
- ・まとまった受注が見込めない状況が続いている。
- ・既存先からの受注に増減は無いものの、当社の課題である新規取引先についてはほとんど増えていない。

### (2) 建設業 景況感 12P (前回比△5P) <やや良い>



収益（0P）は、14P の悪化となりました。雇用人員（△42P）は、前回比 6P と少しの改善がありました。依然として人手不足が続いており、次期に向けても改善が見込まれていない状況です。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・横須賀市からの公共工事を受注し、工事件数が増え、増収、増益となった。
- ・新築住宅工事を中心に受注は確保しているが、今年から公共防音工事を取り組むようになり、売上げ増加とともに利益率も上がっている。
- ・人手不足の課題を抱えている。仕事を委託する傾向があり、人員確保に努めながら自社工事の比率を高め、利益確保に努めていく方針である。
- ・従業員の確保とそれに伴う人件費の増加に備えた手元資金を確保することが課題となっている。
- ・家を建てるというより商品を買うイメージが強いため、購入者はハウスメーカーに流れてしまっている。
- ・都内に案件が集中している。また、建設労働者の高齢化などにより人手不足・人材不足が深刻な問題となっている。

**(3) 卸・小売業 景況感 $\Delta$ 21P (前回比 $\Delta$ 6P) <悪い>**



売上額 ( $\Delta$ 21P) は 15P、収益 ( $\Delta$ 29P) は 14P、前回から悪化となりました。ほかの項目でも厳しい状況になっています。

次期は、資金繰り以外の項目で改善が予想されています。特に収益では 25P の大幅な改善が見込まれています。

☆事業者の主な声☆

- ・近隣地区の人口減少に加え、若者だけでなく高齢者の家庭においても、既製品を買って食卓を済ませていることから、店頭での売り上げはここ数年下降傾向にある。
- ・年金生活者が多く、消費が減っていて営業上対策を考えなければならない。
- ・定期的なアフターフォローと丁寧かつスピーディな対応を心がけ、顧客流出を防ぐことに力を入れていく。
- ・高額商品の販売低下により平均販売単価は低下したが、低価格商品が増加したことにより売上げは増加した。

**(4) 不動産業 景況感 5P (前回比+5P) <変わらない>**



収益 ( $\Delta$ 6P)、資金繰り ( $\Delta$ 6P) は、ともに前期に比べ 21P の大幅な改善となっています。

次期は、資金繰りで 11P の悪化が予想されますが、売上額で 16P、収益で 17P の改善が見込まれています。

☆事業者の主な声☆

- ・社有物件の売れ行きは良いが、今後の仕入物件が少ないのでエリアを広げて検討したい。
- ・主業のベース向け賃貸部門は、独自のノウハウもあり、堅調に推移している。
- ・空いたテナントが埋まりにくい。大手企業にテナント誘致をするが、駅前ではないと集客の見込みが低いと言われてしまう。地元企業へのテナント誘致は、資金力が低いため敷金・賃料を下げないと借り手がない。

**(5) サービス業 景況感 $\Delta$ 5P (前回比+20P) <変わらない>**



資金繰りを除く全ての項目が改善し、なかでも売上額 ( $\Delta$ 2P) は、前期と比べ 23P の大幅な改善となっています。

次期は、雇用人員、資金繰りで悪化の予想ですが、景況感は緩やかながらも改善の見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・大手企業の参入や人口減少もあり、売上げは減少しているが、地縁・人縁を生かした活動をしながらか顧客との繋がりを強めている。
- ・新規雇用を考えているが、大手と比べて賃金格差があるため、新規採用の募集をしても希望者が集まらない。
- ・固定客を抱えているが高齢客ばかりのため、今後は若年・中年層の取り込みが急務である。
- ・同じ仕事でも、横浜の企業と比べ横須賀の企業では、受注価格が低くなっている。横浜の企業と同程度の価格を提示しても、受注価格を下げられてしまっている。

DI 値 調査結果

前・・・前期 平成29年1～3月の景況感（調査時点 平成29年3月1日）  
 今・・・今期 平成29年4～6月の景況感（調査時点 平成29年6月1日）  
 次・・・次期 平成29年7～9月の景況感（ ” ” ）



業種別調査企業数(回答数)

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	170	35	36	52	11	36
今期	187	33	43	51	18	42
次期	185	33	42	51	18	41

(単位：ポイント)

項目	業種	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
		前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況		景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
	良い(A)	25	22	21	31	33	27	42	35	29	23	12	20	18	22	22	8	14	10
	変わらず	46	54	62	52	46	49	33	42	57	39	55	56	64	61	67	59	67	83
	悪い(B)	29	24	17	17	21	24	25	23	14	38	33	24	18	17	11	33	19	7
	DI値(A)－(B)	△4	△2	4	14	12	3	17	12	15	△15	△21	△4	0	5	11	△25	△5	3
	今－前、次－今	2	6		△2	△9		△5	3		△6	17		5	6		20	8	
売上額		製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
	好転(A)	27	26	24	31	24	27	39	40	26	27	18	20	27	28	33	11	24	20
	変わらず	45	45	58	49	46	43	36	37	62	40	43	56	55	55	61	53	50	65
	悪化(B)	28	29	18	20	30	30	25	23	12	33	39	24	18	17	6	36	26	15
	DI値(A)－(B)	△1	△3	6	11	△6	△3	14	17	14	△6	△21	△4	9	11	27	△25	△2	5
	今－前、次－今	△2	9		△17	3		3	△3		△15	17		2	16		23	7	
収益		売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
	増加(A)	21	19	20	26	33	27	31	26	21	20	14	22	9	11	22	11	12	8
	変わらず	50	53	63	51	43	55	52	48	65	45	43	52	55	72	67	53	68	79
	減少(B)	29	28	17	23	24	18	17	26	14	35	43	26	36	17	11	36	20	13
	DI値(A)－(B)	△8	△9	3	3	9	9	14	0	7	△15	△29	△4	△27	△6	11	△25	△8	△5
	今－前、次－今	△1	12		6	0		△14	7		△14	25		21	17		17	3	
雇用人員		需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
	多い(A)	3	6	5	0	6	6	3	5	5	4	8	8	0	0	0	6	7	5
	適正	59	60	61	54	58	64	46	48	47	71	61	63	82	78	78	50	64	63
	少ない(B)	38	34	34	46	36	30	51	47	48	25	31	29	18	22	22	44	29	32
	DI値(A)－(B)	△35	△28	△29	△46	△30	△24	△48	△42	△43	△21	△23	△21	△18	△22	△22	△38	△22	△27
	今－前、次－今	7	△1		16	6		6	△1		△2	2		△4	0		16	△5	
資金繰り		資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
	楽である(A)	13	10	10	17	18	24	17	14	12	10	6	6	9	11	11	11	2	2
	さほど苦しくない	67	73	69	66	70	61	69	70	78	67	74	67	55	72	61	70	81	74
	苦しい(B)	20	17	21	17	12	15	14	16	10	23	20	27	36	17	28	19	17	24
	DI値(A)－(B)	△7	△7	△11	0	6	9	3	△2	2	△13	△14	△21	△27	△6	△17	△8	△15	△22
	今－前、次－今	0	△4		6	3		△5	4		△1	△7		21	△11		△7	△7	

〈参考〉昨年同期と現在の売上比較(回答 147社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「売上額」が増加(A)	51社	34.7%	22.7%
昨年と比べ「売上額」が変わらない、横ばい	54社	36.7%	38.1%
昨年と比べ「売上額」が減少(B)	42社	28.6%	39.2%
DI値(A)－(B)		6.1 P	△16.5 P

